

おとしさん

第128号

発行者
末澤静覚



雪割草

ゆきわりそう
北国の山地に自生し、早春残雪をもたけて萌え出し、若葉に先だつて花を咲かせるところから、この名がある。正しくは、洲浜草と呼ぶ。

余韻

輪番代行 末澤静覚

本願寺新報二月一日号一面にご門主ご親教「お浄土への道」が、掲載されておりました。皆様もお読み下さったことと存じます。その中に「恐れを知らない現代です。」とのくだりを見まして、なるほどと思ひ不安にかられたものです。

私達の現在あることを確実にしていただいた先人の生活の一日一日の積みかさねの歴史をみますと、常にその時々新しい発見と感動の連続で、その体験を身体に余韻を残してこられたことでしょう。もちろん恐しいことに出会った人も、その恐しさの余韻を伝えて私達に警鐘を鳴らして来ましたが、その余韻さえ忘れた現代人は、感動なき人生を歩み感動なき老人へと追み、老人の無気力を笑えない若人に気付いているでしょうか。

幸せをあたえてくれた先人の人達。無気力と云われる老人の方々は苦しみや、恐しさ等、いろいろなことに出合いながら、それらをひもとき、光明を見出し出していたいた方々です。

私達はその光明の明るさの中に、暗さを知らない時代を迎えて、不安も恐しさも、苦しきも、余韻がない私達に、心からの喜びも、人を思い合う心も失なわれたように感じてなりません。

南無阿弥陀仏に感動し、南無阿弥陀仏の余韻に暮らして来たことを忘れてはならないと思ふことです。



本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647 FAX(0138)23-2630



春季彼岸法要のご案内

此岸 彼岸

この岸の ご恩を

お礼もうし

あきないやめて

やがて私も

かの岸へ

たどりつくか



「お彼岸—先輩方が心をつくして「講仏会」、仏さまにお育てを「ただい」ている中で仏さまのお徳を講える法会と呼び、お彼岸にあたり、仏さまに手を合わせてさまさまなお育てを思い、またご先祖さまのご恩を徳ぶというような生活様式は、今新しく作ろうとしても大変なことです。自他の一切の生命の尊さに気づかせていただき、自分自身を受け入れ、他人の上に想いがかけられる生きざまを身につけたいものです。そして、死をも包んだ生命のことに心を馳せる一週間でありたいものです。どうぞご家族そろってお参り下さい。」

南無阿弥陀仏

唯、信に生きる

「世間の目より如来の眼（まなこ）に生きた親鸞聖人」元日のカレンダーのこの法語に、何故か心の動揺を覚える。みにくく、きたなく、はづかしい己れを見せないようにと、哀しいまでも世間体をとりのつくろいとうしの私。だが、如来さまの眼で見られているとあれば問題は別。誰にも知られる筈のない私の意念の一切はもちろん、永劫未来にまでも送り続けるであろう量り知れない安業をも含めて、あますらなく、既に既にお見逃し、隠しようのないあさましい身であり逃げようのない宿業の身と、更めておもしろ知らしめられます。何んという厳しい眼力であろうか、その極みを超えておはします故に仏と仰がせ

ていただくのか。「如来の眼に生きた」とは、全生涯を如来と現れ給う法に、真向きに正対して、己れを問いつけ、身の罪悪性を確認し続けられたと言いうことであります。

「誠に知んぬ、悲しき哉愚充燈、愛欲の広海に沈没し、名利の大山に迷惑して定聚の敷に入ることを喜ばず、真実の証に近づくことを快まず、恥づべし、傷むべし矣」と。

如来さまの眼に見ぬかれた自らの真実の相への告白と悲泣が、なまなましく伝わってくる。その苦悩が深ければ深い程、

「たすけずにおかぬ」

如来さまの大悲を、強烈な喜びとして述べられたのが、「慶ばしき哉、心を弘誓の仏地に樹て、念を難思の法海に流す。深く如来の袂裏を知りて、良に師教の思厚を仰ぐ。慶喜いよいよ至り云々」のお

ことばでありましょうか。己れの罪悪性を深く信知せしめられた



とき、はじめて真実の法に遇える他力唯信の相を身をもってお示し下された法語として、大切に仰いでゆきたい。合掌

森 解雄

法要

◆三月十七日(水)〜三月二十三日(火)

本院 院（いん） 毎朝七時より 毎任一時半より

台町出張所（たいまちしやうしやうじょ） 三月二十一日(日) (常和巻) 午前十一時半より

中日特別講話

本院（いん） 三月二十日(日) 午後六時より

講師／岡山県尾道市法光寺住職 季平 博道（はくどう） 師

彼岸法要中、十七日(水)〜二十三日(火)迄本院納骨堂・台町墓地におきましてお勤めをいたします。二十日(日)に、仏花・彼岸だんご・ラムネ等のご用意をいたしております。どうぞご利用下さい。

平成五年度年回表

一周忌	平成四年
三回忌	平成三年
七回忌	昭和六十二年
十三回忌	昭和五十六年
十七回忌	昭和五十二年
二十三回忌	昭和四十六年
二十五回忌	昭和四十四年
二十七回忌	昭和四十二年
三十三回忌	昭和三十六年
三十七回忌	昭和三十二年
四十三回忌	昭和二十六年
四十七回忌	昭和二十二年
五十回忌	昭和十九年

※過去帳をお調べになつて、法要は早い内に右寺と願ひ下さい。

教化サークル会員募集中

十六日会

全門信徒は、月に一度は別院に参ろう、との呼びかけのもとに、親賢聖人二命日、毎月十六日の例会は講師、輪番、職員会員一同に会しての、昼食(12時半より)本堂で会員による正信得のおつとめ(一時半より)そして会館での時間と定められ月に一度の門信徒交流、そして安らぎの場として、喜ばれております。どうぞご参会下さい。

会費/年(3,600円)
※昼食代含む



仏教婦人会

仏教婦人会は、毎月23日に学習会をしたり、別院のいろいろな行事に参加したりして、いきいきとした会です。みなさんも一緒に参加してみませんか。



仏教壮年会

函館別院仏教壮年会は、「よろこびを行動に」をテーマに現在26名の会員で活動しています。研修会や各種行事への参加を通して、より多くの方々と楽しく念仏の教えというものを学んでいきたいと思っております。

仏教青年会

若い仲間と共に学び共に遊ぼう。現在、会員数は9名(17歳~35歳)です。私達は、普段たくさんの人々と知りあいますが、心から話しかける友達はそう多くではありません。お寺というキャンパスで心の友をふやしてみませんか？

どうぞ気軽に遊びに来て下さい。

覚信尼会

覚信尼会は、只今15人程でたのしく、毎月第2火曜日に集まって、勉強会や郊外学習を行なっている若妻の方々の会です。ぜひ一緒に学びませんか。

ボーイスカウト

ボーイスカウトでは、小学校1年生以上を対象に、週末の2、3時間を利用して野外活動・工作・ゲーム等盛りだくさんのプログラムを展開しています。皆様方のお子様を是非、入会させてください。



白蓮会

仏法を開きたいが昼間は時間がない、などという方はこの白蓮会に入って夕方にみんなと集まり、仏法を聞いてみませんか？詳しくは利国までご連絡ください。



家庭法座

「土曜の会」

予定表

●ごあんない図●



第10回 家庭法座土曜の会

- とき 平成5年3月27日(第4土曜日) 午後1時30分~午後3時30分
- ところ 函館市日吉町1丁目21-8 熊谷 淑子宅(☎54-6859)
- テーマ 仏説 観無量寿経(王舎城の悲劇)

第11回 家庭法座土曜の会

- とき 平成5年4月24日(第4土曜日) 午後1時30分~午後3時30分
- ところ 函館市日吉町1丁目21-8 熊谷 淑子宅(☎54-6859)
- 仏説 観無量寿経パートII (続王舎城の悲劇)

門徒さんコーナー

写真の仏像は、時任町にお住まいの中村五三郎さんの作品(親鸞聖人)です。材料は、ひの木を使用。製作日数は、約2ヶ月だそうです。像全体にやさしさがあふれていますね。皆さんも一度作ってみられてはいかがでしょうか。



幼稚園だより

龍谷幼稚園 安西るみ

「雪あそび」

今年の冬はいつたいたいどこへ行ってしまうたのだからと思っくらい雪が少ない毎日です。子供達と「冬休みが終わつたら雪遊びをしよう」と約束してました。ところが雨がいらぬ雪こいをしなければ遊べない状態。

……雪やこんこ
あられやこんこ
ふつても ふつても
まだふりやまぬ……

この歌にも力が入りません。二月九日には、思いきつて雪を求めて大沼まで足をのびし、雪まつりの後の雪像で遊びましょうという計画をしました。その日の朝起きてヒツクリ。今まで降らなかつた雪がドンドン降っているではありませんか。今度は逆に雪で



車が渋滞して大沼まで行けるか心配しての出発でした。が「おかげさまで大沼は天気もよく、ようやく雪にありつきた子供達は、氷のスベリ台、迷路等と雪の。感觸を大いに楽しむことが出来ました。



新職員紹介

平成4年10月よりお世話になってます。管理人さんと勝田さんの向出一磨さん、サカエさんご夫婦です。縁の下の力持ちのお二人。どうぞ気軽に声をかけて下さい。

常例布教

【三月・四月】

- 十一日 午後一時半(あそか会)
 - 十二日 " (法友会)
 - 十三日 " (先真講)
 - 十四日・十六日 午後一時半
 - 十六日会 午後十二時半
- 布教使
南館市千代台町 瑞教寺副住職
小松 正樹 師
中川郡喜別町宝町 顕勝寺住職
芳瀧 仁 師

教化サークル

【三月・四月】

- 婦人会 担当 末澤、神田
二十三日 午後一時半
- 仏教壮年会 担当 末澤、小笠原
- ・三月研修会
- ・四月総会 後日連絡
- 覚信尼会 第二火曜日 午後六時半
担当 神田
- ボーイスカウト 担当 千葉、芝田
毎月プログラム発行
- 白蓮会 二十日 午後六時
担当 利国



- 仏教に学ぶ会 担当 末澤、利国
八日・十八日・二十八日 午後六時半
- 仏教青年会 担当 芝田
- ・三月例会 後日連絡
- ・四月総会

- ピハール 担当 利国、神田
- その都度連絡

- 日曜学校 担当 黒田
- 三月十三日
- 四月十日

お西さんしあわせ電話

ちよつと耳をかたむけてみませんか

0138 27局 2424番

(聞こう//学ぼう//味わおう//)
24時間いつでもどうぞ。



- 3月11日(水)～20日(土) 末澤副輪番
- 3月21日(日)～31日(水) 神田 承任
- 4月1日(木)～10日(土) 黒田 参勤
- 4月11日(日)～20日(水) 芝田 承任
- 4月21日(木)～30日(土) 神田 承任

哀悼録

平成4年12月1日(平成5年1月)の間に亡くなられた方々。生前の善行を取り持ちを謝し、心より哀悼の意を表します。

永代経懇志上納者

○永代経懇志上納ありがとうございます。ありがとうございました。